

交差点編（信号機あり）

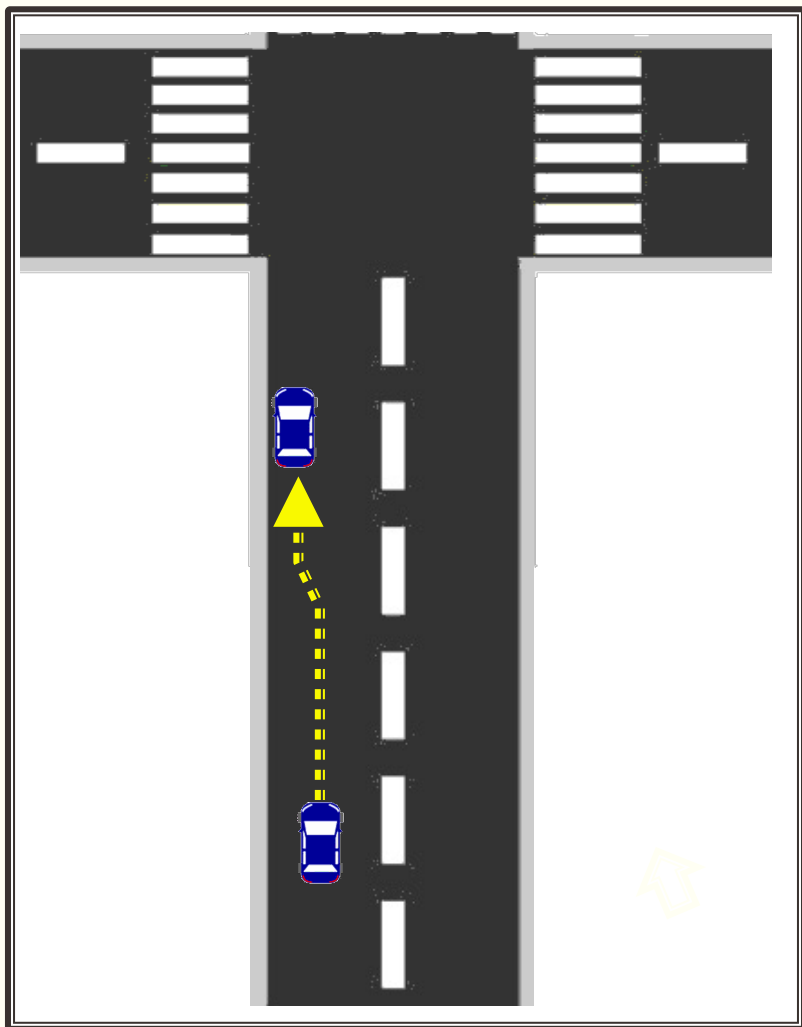




進路変更

進路変更とは？

ベーシック
トレーニング



進路変更とは、同一車線内で
『あらかじめ寄っておく』という行為になります。

【進路変更のメリット】

①事前の『巻き込み事故』の防止

後ろに危なそうな自転車やオートバイがいる場面では、特に効果的になります。

②後続車が抜かしやすくなる

後続車の進路が空くということは『後ろで待たれるプレッシャーからの解放』を意味します。
自分のペースで行動できる事が最大のメリットです。

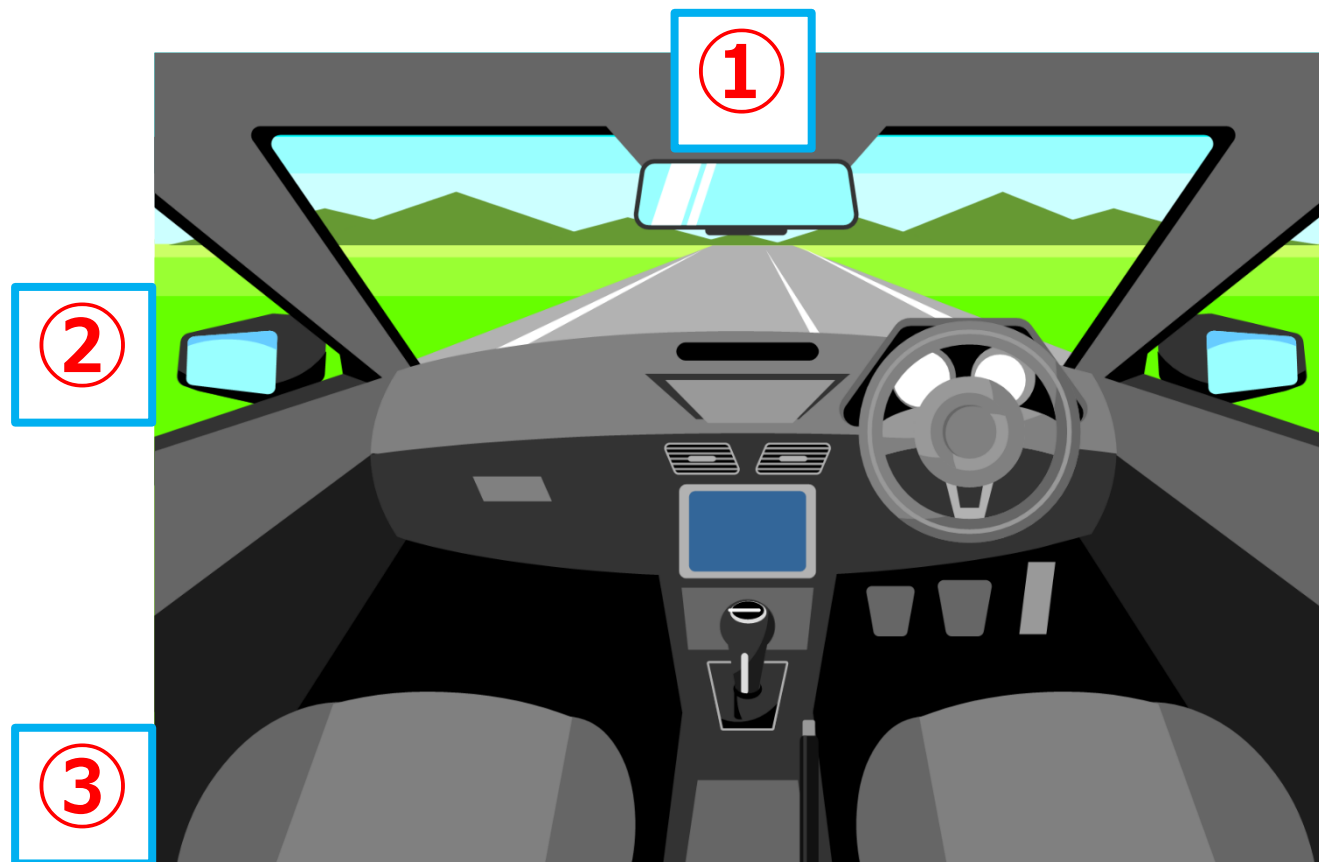
進路変更の手順

ベーシック
トレーニング

ウィンカー

- 1、ルームミラー
2、サイドミラー
3、死角の目視

寄せる

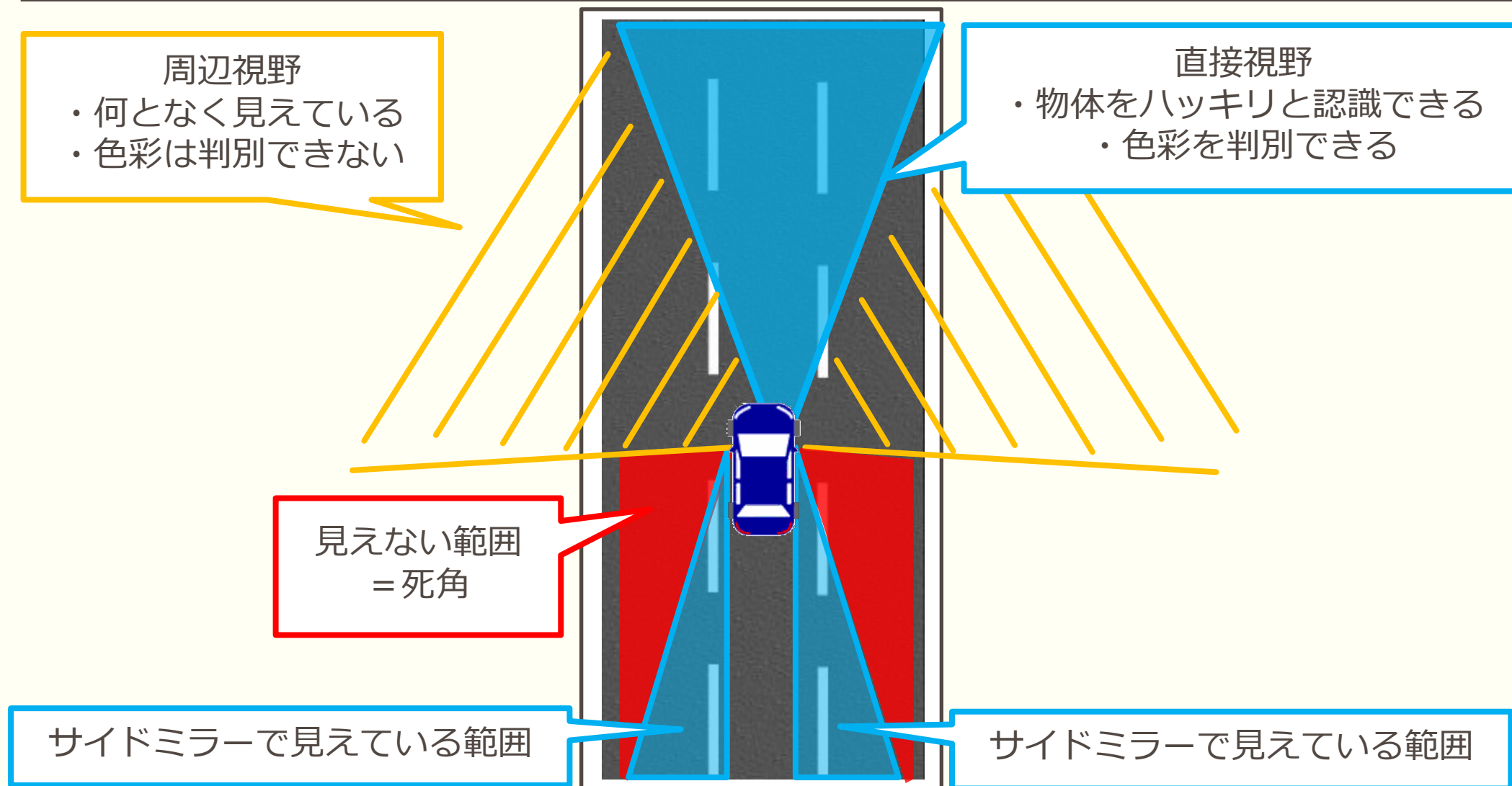




死角の確認とミラー距離感

死角を把握しよう

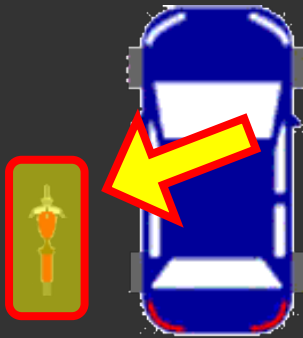
ベーシック
トレーニング



目視する場所はここ

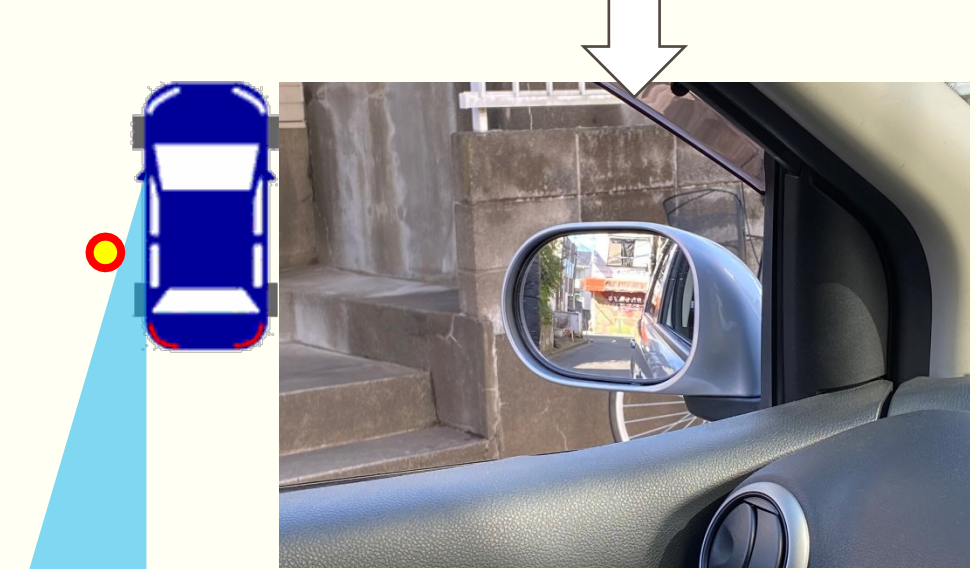
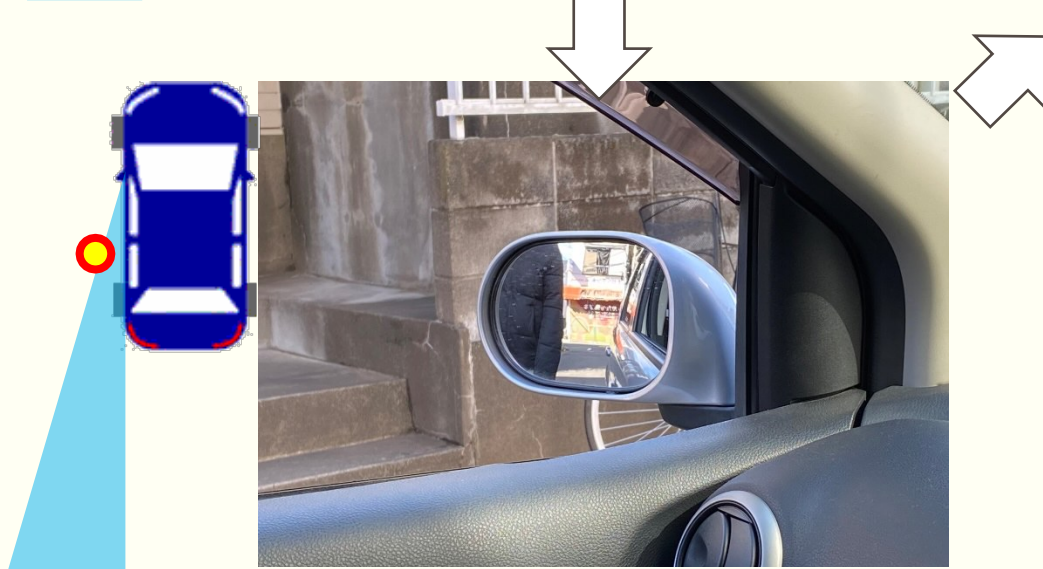
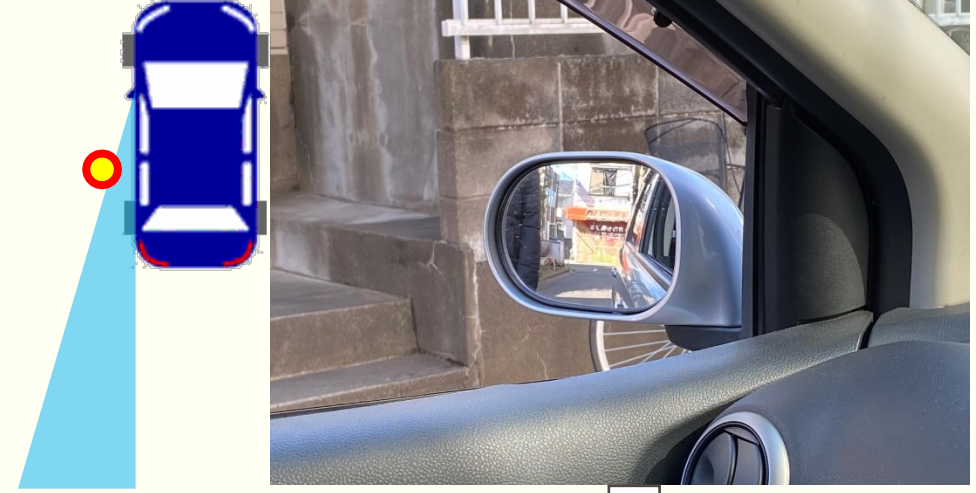
ベーシック
トレーニング

この位置関係を目視しましょう



ミラーの映り方

ベーシック
トレーニング



子供が死角に入った状態

ベーシック
トレーニング



子供が近づいた状態
(少し後ろにいる)



子供が近づいた状態
(サイドミラーの近くにいる)

ミラー距離感を掴もう

ベーシック
トレーニング



すぐ後ろ
(0台)



半台
(2台)



1台
(4台)



1台半
(6台)



ミラー距離感を掴もう

ベーシック トレーニング



2台
(8車)



2台半
(10車)



3台
(12車)



「怖い」という理由
で待ちすぎても問題
は発生します。

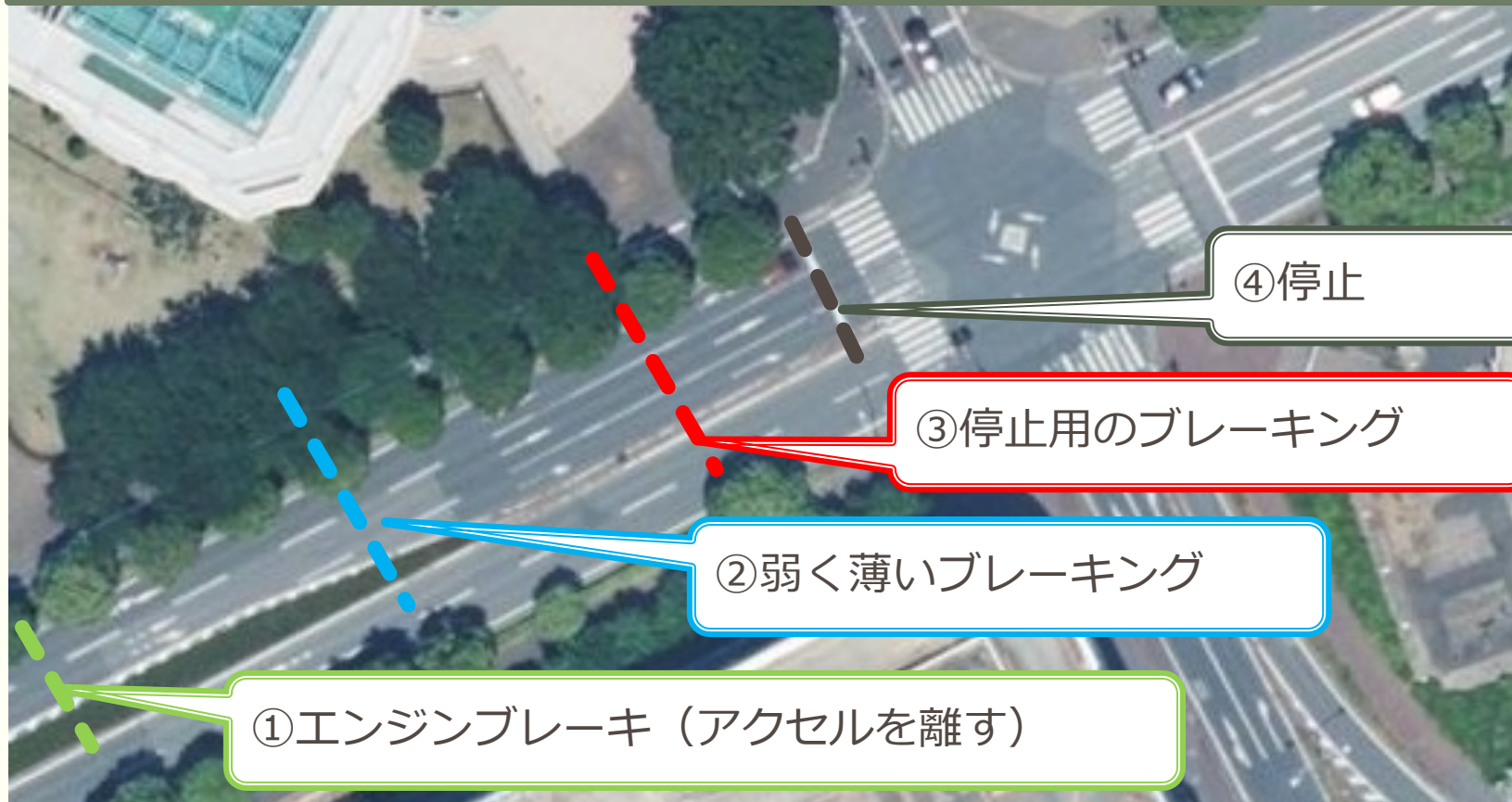
正しいミラー距離感
を掴みましょう。



視点・ブレーキング・タイミング

4 段階のブレーキング

- ◆ 4 段階の減速でゆるやかに停止していきましょう
- ◆ 急ブレーキになる場合は「黄色でも」そのまま通過しましょう



基本となる 4 つの視点

①信号
(歩行者用信号含む)

②道路標示 (各種)

③ブレーキランプ
④ウィンカーランプ



遠くを見て様々な情報を取得しよう

青いライン程度まで遠くを見て
様々な情報を仕入れる意識を持ちましょう



直近しか見れないと情報の取得
に問題が発生してしまいます

信号合図のタイミング

ベーシック トレーニング

合図（ウィンカー）を出すタイミングは、最低でも30メートル手前です。
二つの目安で距離感を掴みましょう。



「矢印の表示」から「交差点」まで



「横断歩道標示」から「交差点」まで

信号合図のタイミング

右折も左折も「分岐」付近でウィンカーを出している状態がベストです。

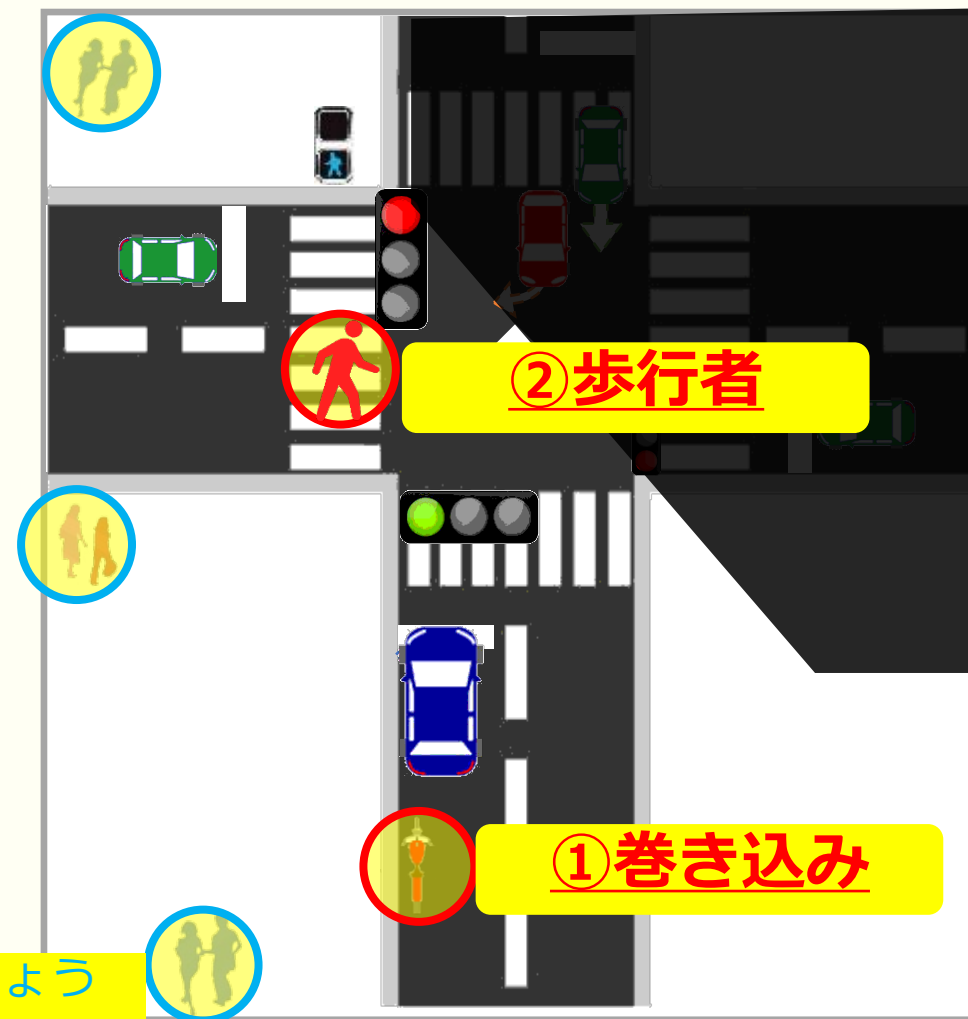




信号左折

ベーシック トレーニング

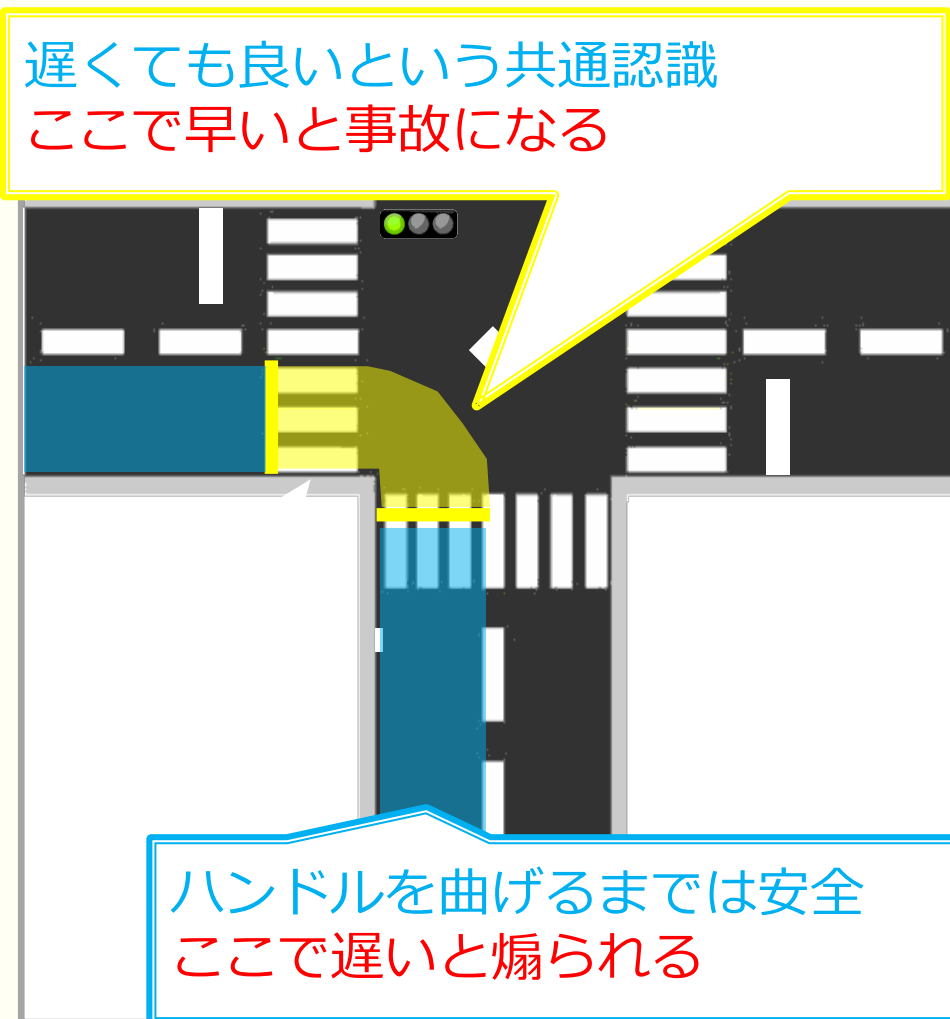
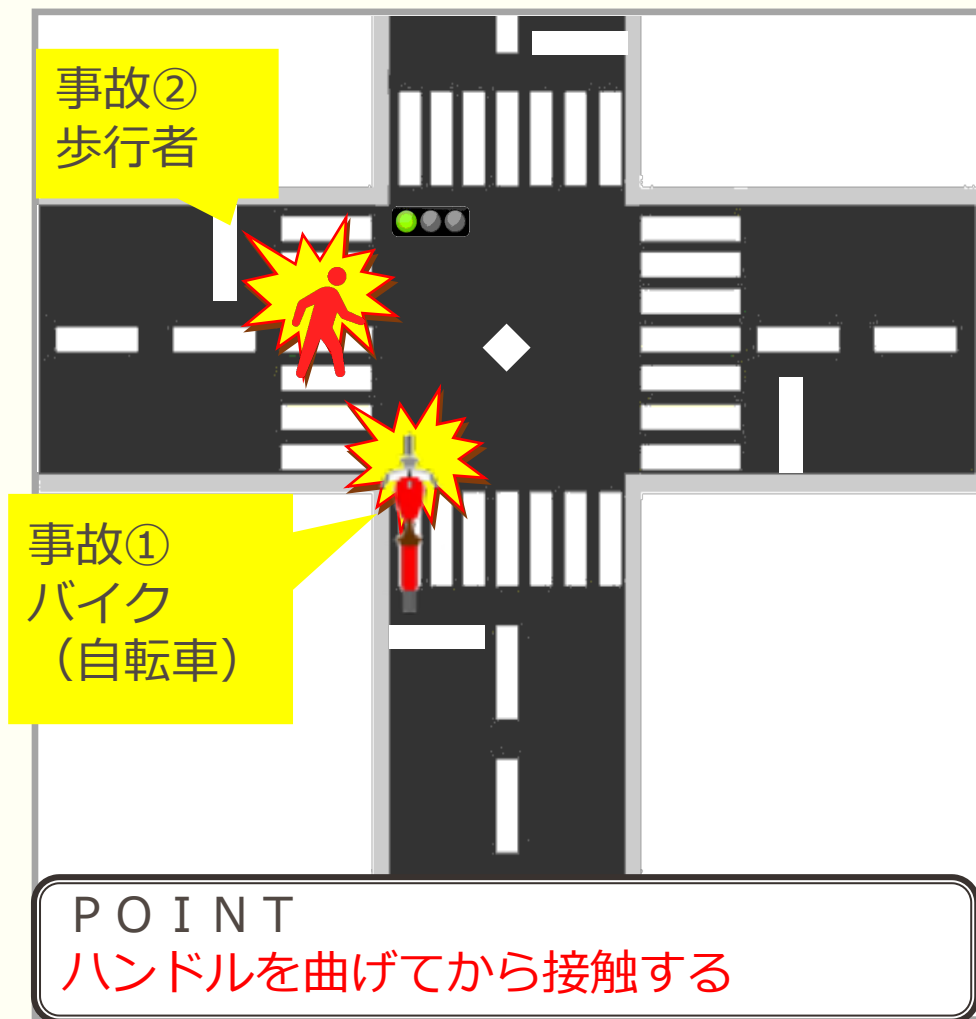
- ① お知らせ（ウィンカー）
- ② 確認（ルーム・サイド・目視）
- ③ 寄せる
- ④ 落とす（スピード）
- ⑤ 首振りしながらゆっくり曲がる



※視野も広く保ちましょう

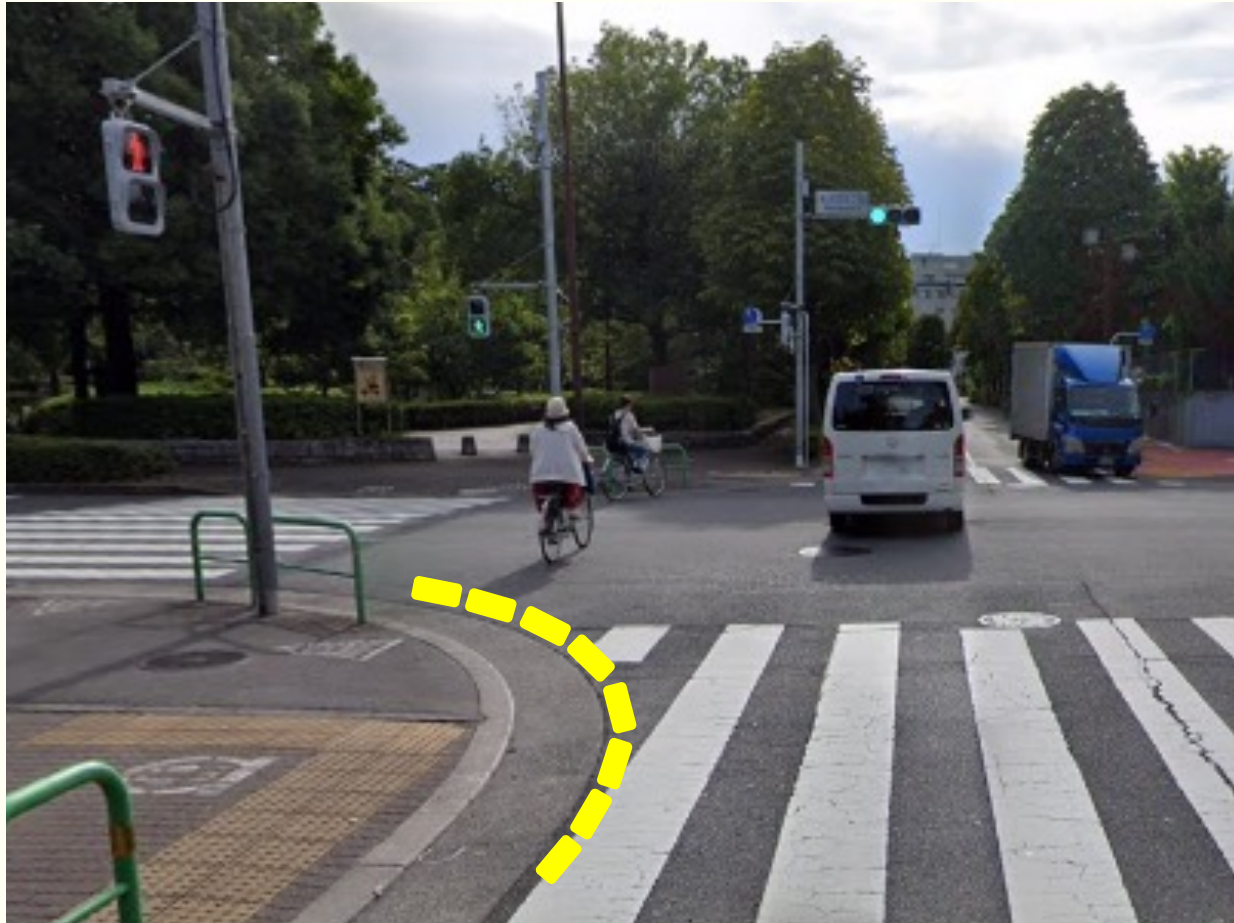
信号左折 接触メカニズム

ベーシック
トレーニング



走行ラインも正しく掴みましょう

ベーシック
トレーニング



「後輪」が「縁石のR」
に沿うイメージ
で曲がってみましょう。



信号左折の「出来た」の基準

出来た（＝評価3）の基準@信号左折

一連の理解・実践が身に付くと安定します

これさえ出来れば安全確保が大幅に上昇！

【出来たの基準】

- ①死角の理解（見る場所が正しい）
- ②スピードコントロールが安定している
- ③ハンドリングが安定している
- ④走行ラインが安定している
- ⑤進路変更の一連動作が安定している
- ⑥確認手順・動作が安定している

- ・減速（スピードコントロール）
- ・首振り確認



信号右折の基礎

右折時の待機ポイント

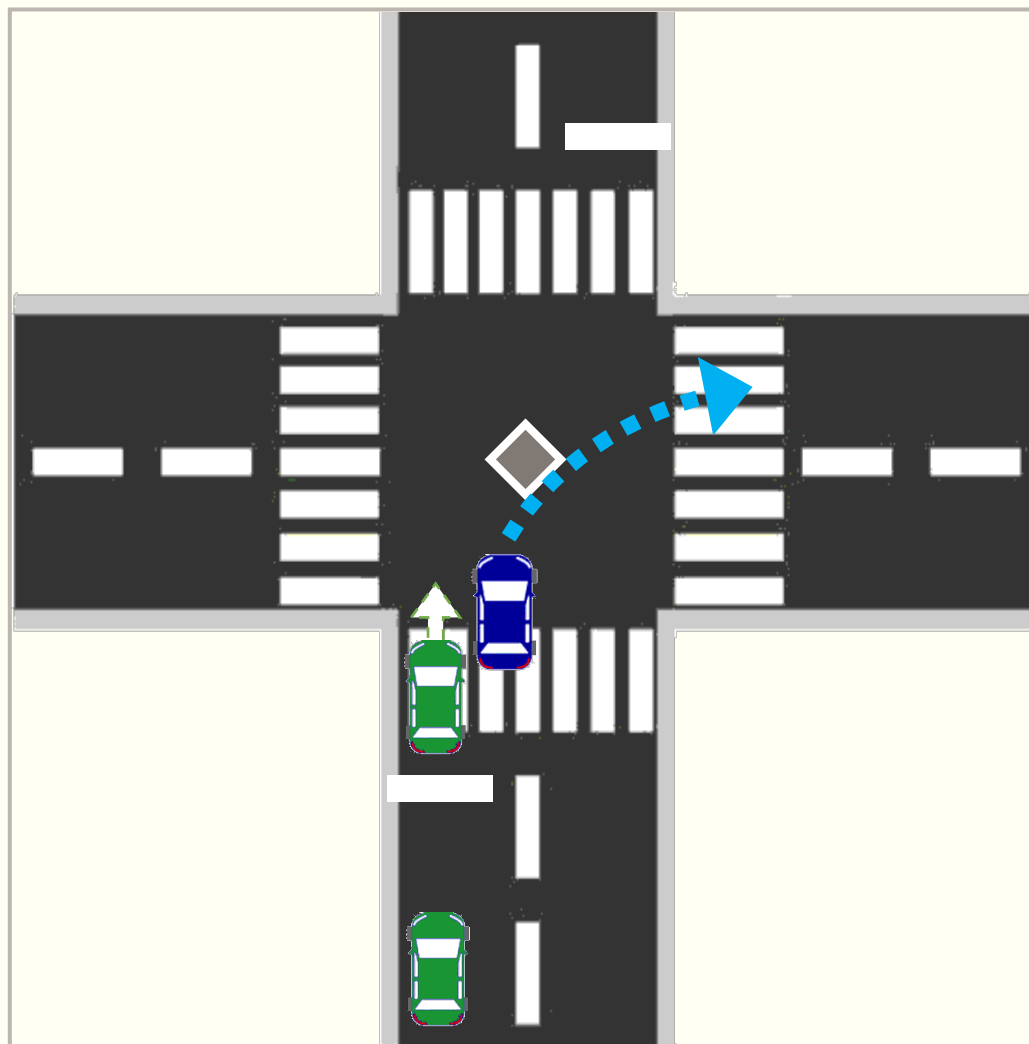
右折時の待機ポイント

◆中央の少し手前

交差点の真ん中にあるガイドラインを踏んではいけません

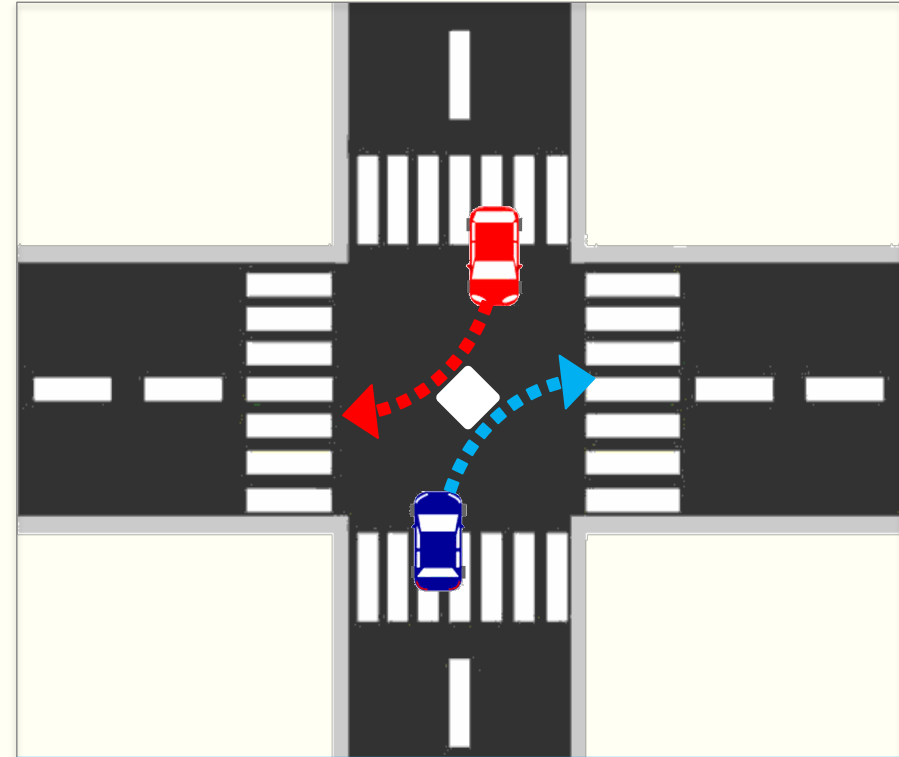
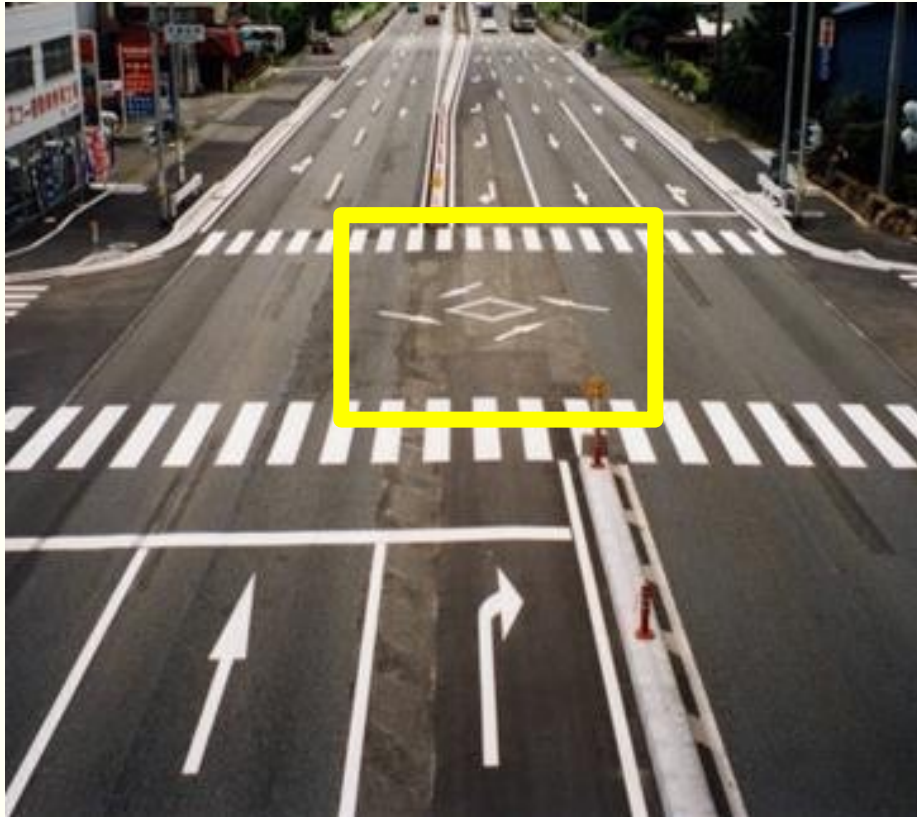
◆右寄り

後続車の進路を確保してあげましょう



ガイドラインの通過方法

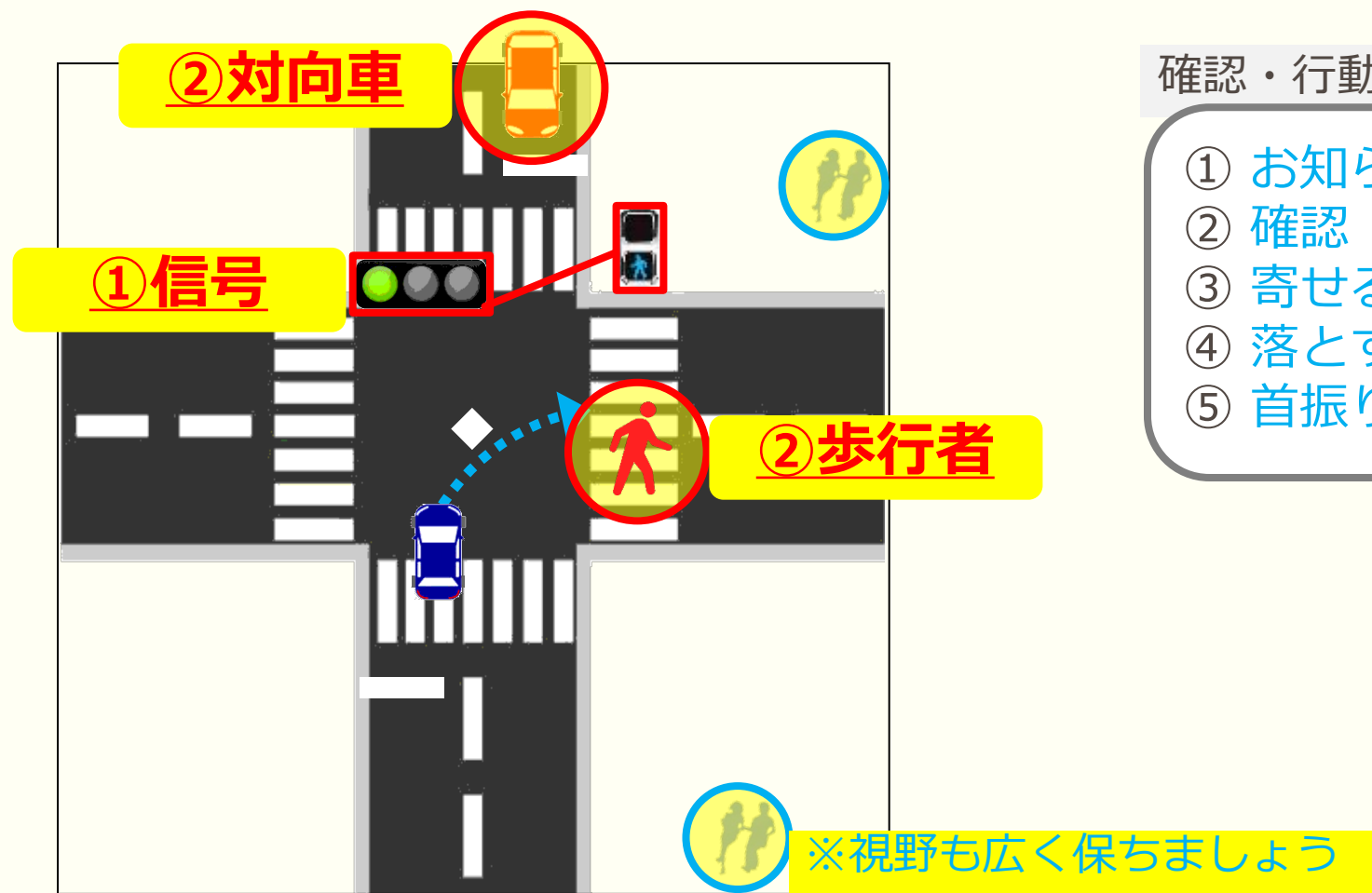
ベーシック
トレーニング



相手の進路を妨げない事が大切です

信号右折のポイントと確認方法

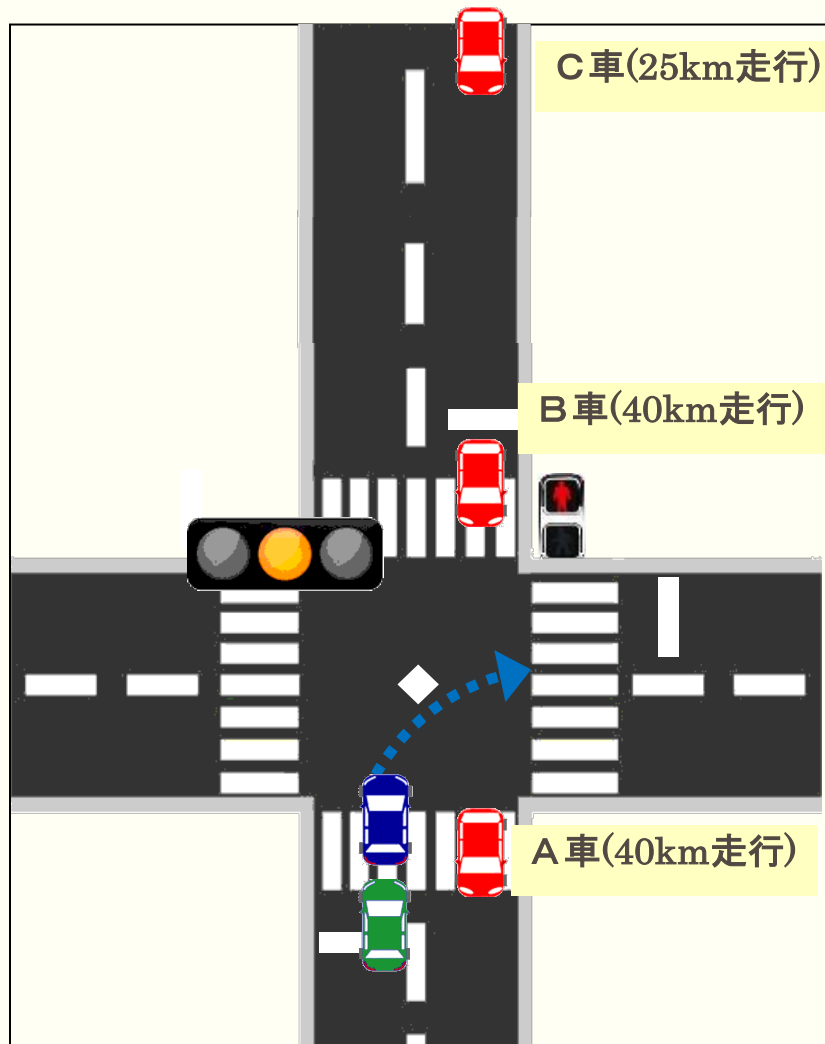
ベーシック
トレーニング



確認・行動手順

- ① お知らせ（ウィンカー）
- ② 確認（ルーム・サイド・目視）
- ③ 寄せる
- ④ 落とす（スピード）
- ⑤ 首振りしながらゆっくり曲がる

信号右折でよくあるタイミング



- ① 青い車が右折待ちをしている
- ② 対向車の流れが途切れない
- ③ 歩行者用の信号が赤になる
- ④ 信号が黄色になる

この瞬間、青い車はどのような行動を取るべきでしょうか？

【答え】

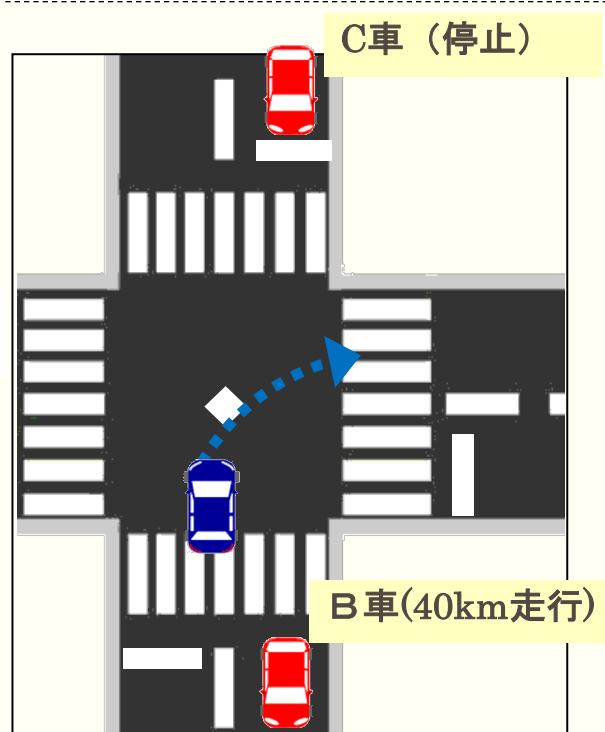
B車は通過する
C車は止まる（と推測する）

C車の減速の度合いを確認しながら
車の切れ目（B車とC車の間）で通過する

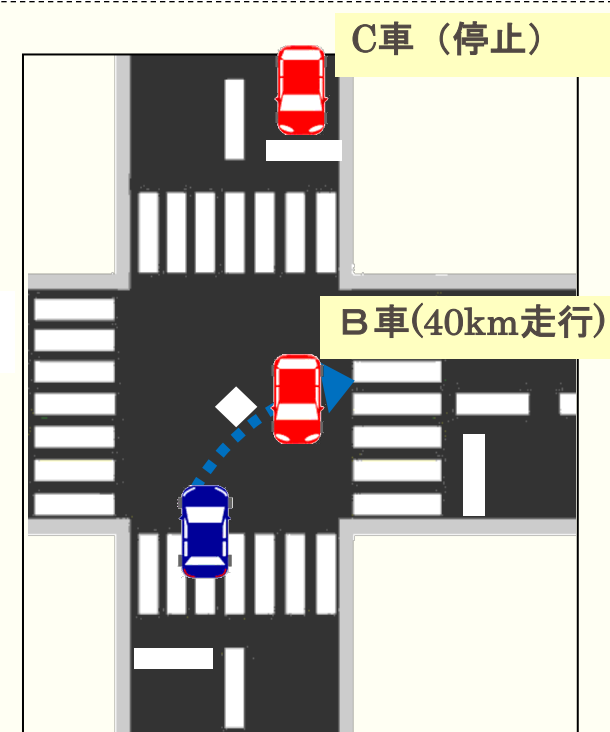
シビアなタイミングを掴もう

右折のタイミングはとってもシビアです。

1秒遅れると、クラクションを鳴らされます。2秒遅れると、交通障害を引き起こします。



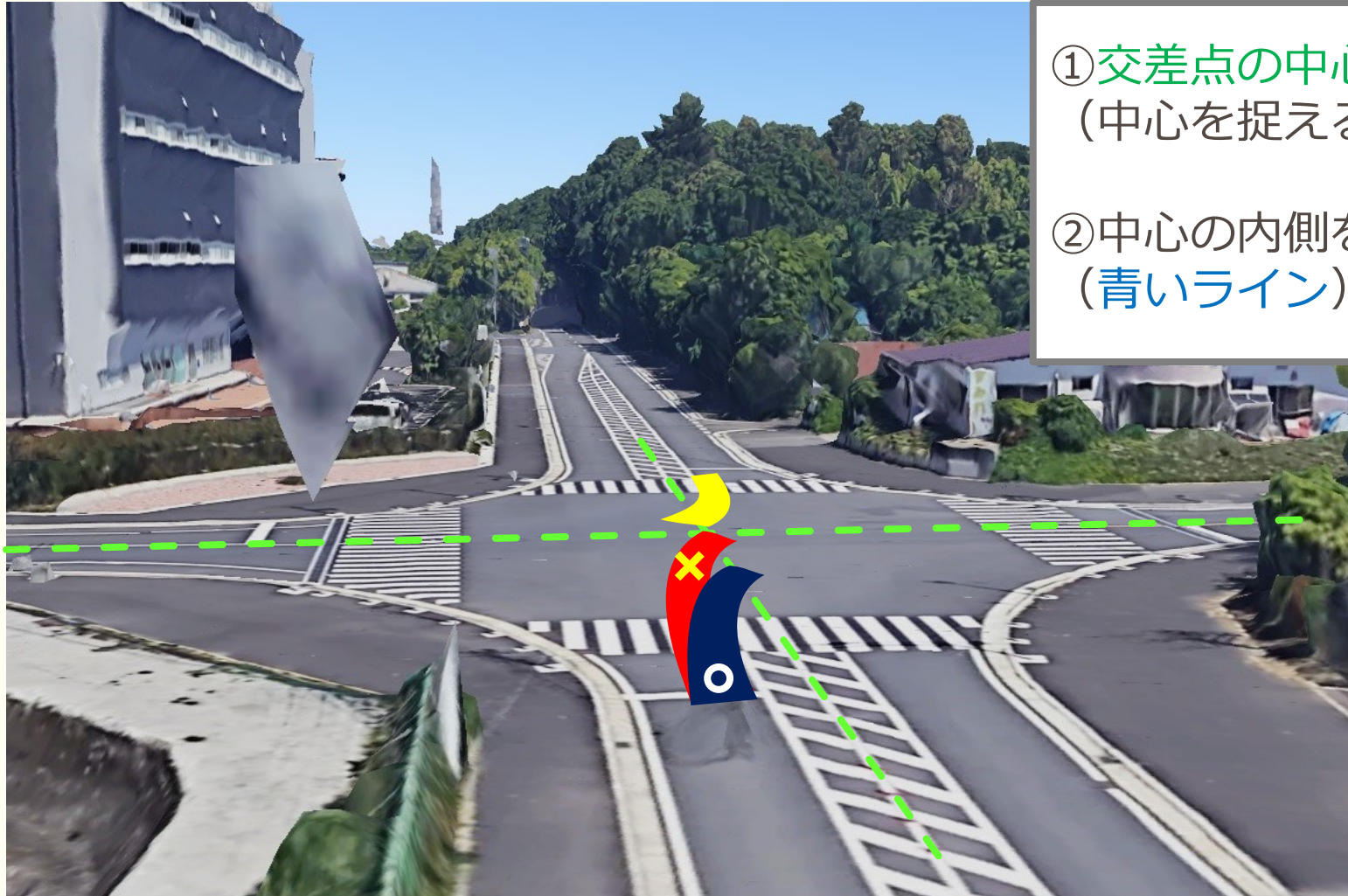
B車が通過してからアクション
では遅すぎます



B車の通過中が、始動の適切なタイミ
ングです

正しい走行ラインの掴み方

ベーシック
トレーニング



- ① 交差点の中心を見つけましょう
(中心を捉える意識が重要です)
- ② 中心の内側を通りましょう
(青いライン)

信号右折時の目線

ベーシック
トレーニング

対向車が途切れて行けそうです。
動き出す前にチェックしておきましょう！

C) 渡ろうとする歩行者・自転車

A) 進行先の状況

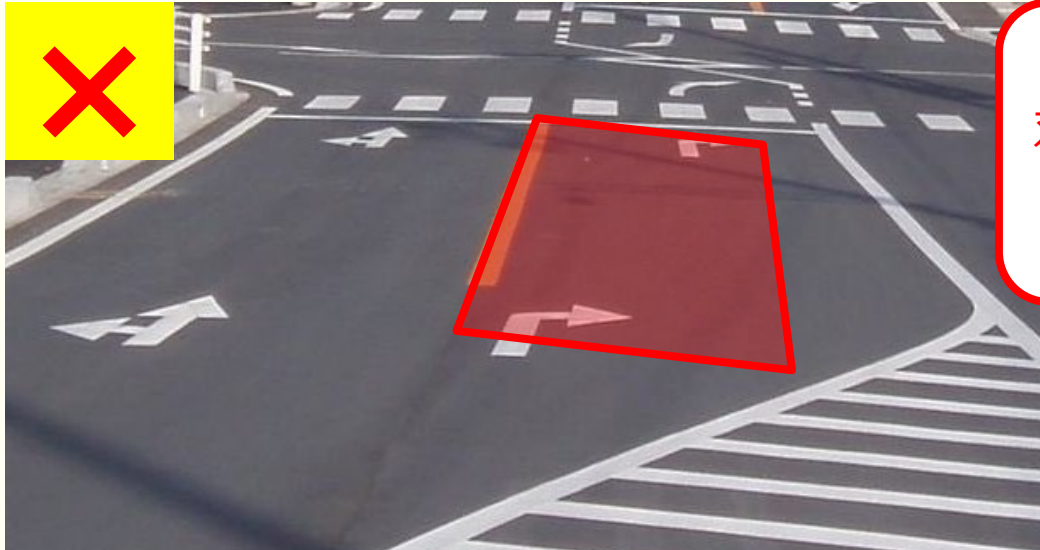
B) 横断歩道

速度が速い自転車は特に
要注意！
右後方は見落としやすい



「線への意識」を高めよう

ベーシック
トレーニング



◆よくあるミスティク

対向車への圧迫感から、左に寄りがちになってしまいます。「無意識」の方もおられます。
「対向車意識」が強過ぎることが原因です。

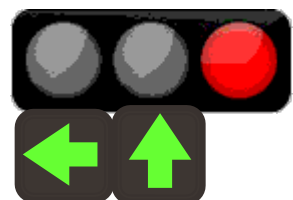


◆「線の中」を意識しよう

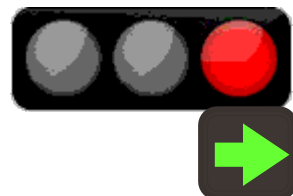
意識を対向車から「線の中」に切り替えましょう。
「線を守れば当たらない」という意識を持ちましょう。

矢印信号の基本解釈

矢印信号の解釈は、原則・赤信号です。
でも、**矢印の方向だけは進んでも良い**ですよ。という意味になります。



直進と左折 可



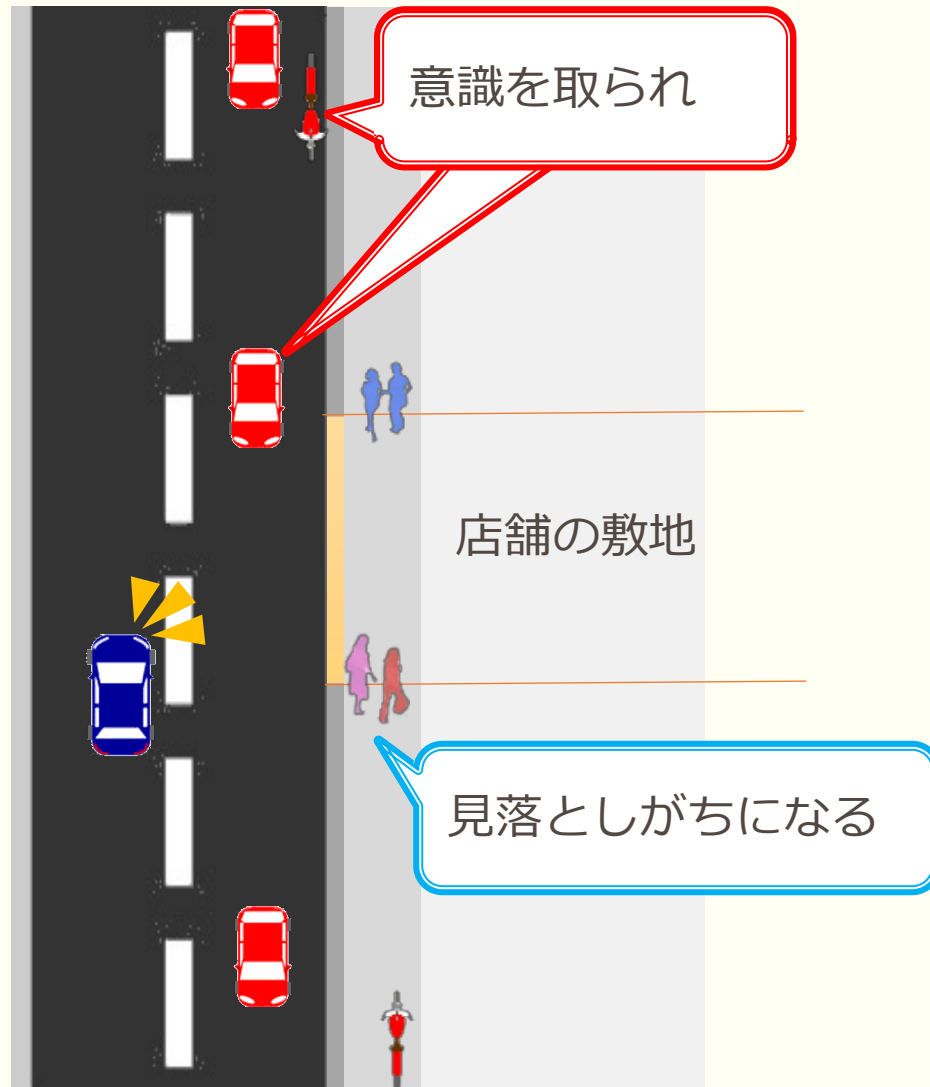
右折のみ可
(= 右折専用)

左図はよくある2種類のパターンです。
他にも様々なパターンがあります。

下図は右折車専用です。
他の交通は全て赤信号になっているので、**すみやかに通過**しましょう。



施設入庫とサンキュー事故



対向車に意識を取られ、歩道にいる歩行者を見落としがちになります。

特に、街路樹の奥にある歩道は極端に視認性が悪く、とても見落としやすくなっています。

歩行者の視認性が低下する



サンキュー事故（右折絡み）

応用



「初心者」期間に極めて発生し易い事故の一つ。
それがサンキュー事故です。
「譲って貰った」という意識が仇になります。

「譲って貰った」という事実が行動を
焦らせてしまいます。

「初心者との自覚がある」方ほど、そ
の傾向が強まる様です。

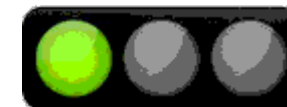
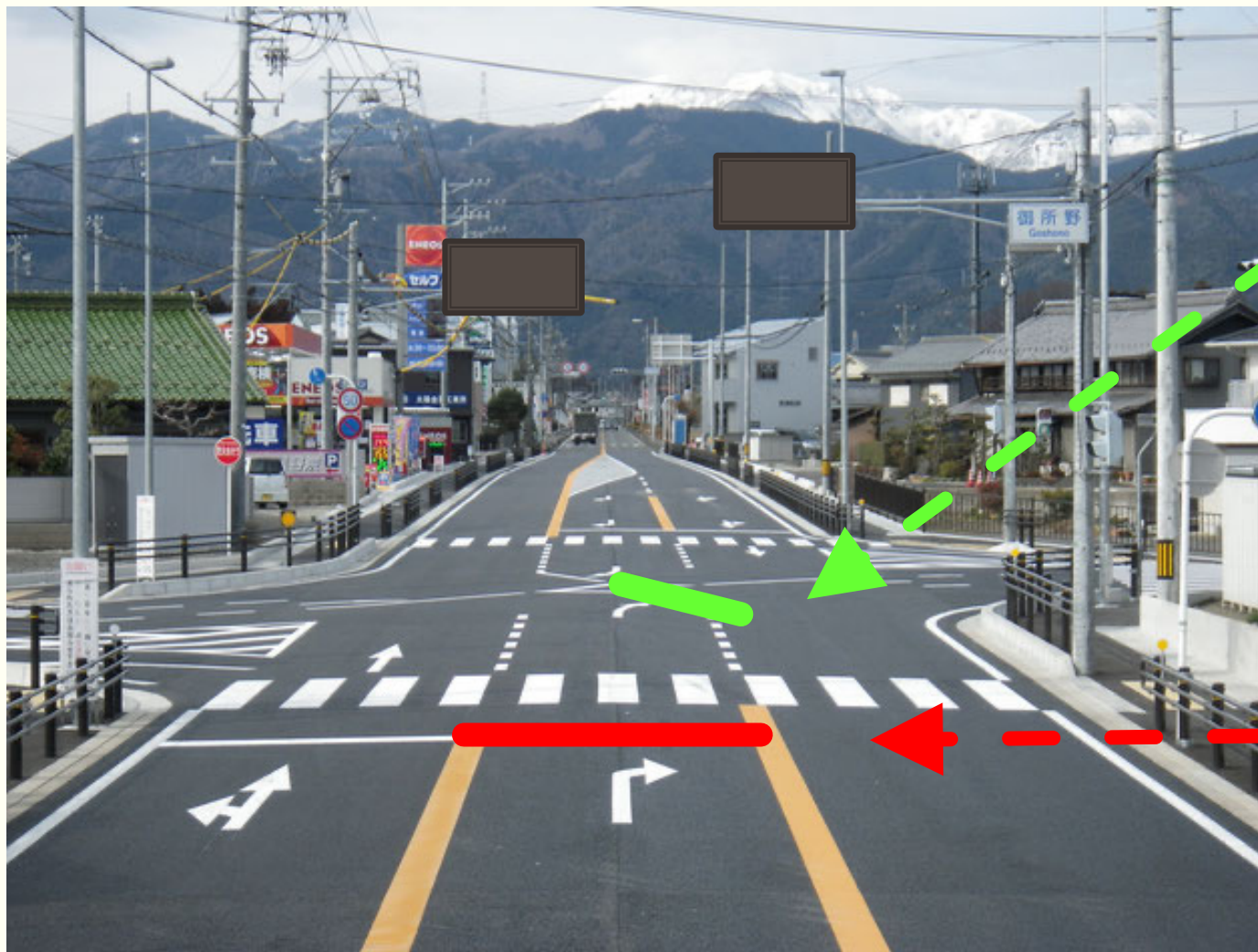
せっかくの善意なのですが、状況に
よってはスルーしてしまう勇気も必要
かもしれません。



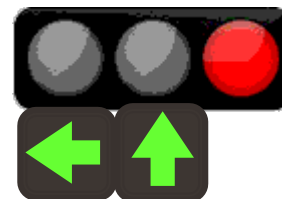
信号右折の色々（応用）

右折矢印の待機位置

応用



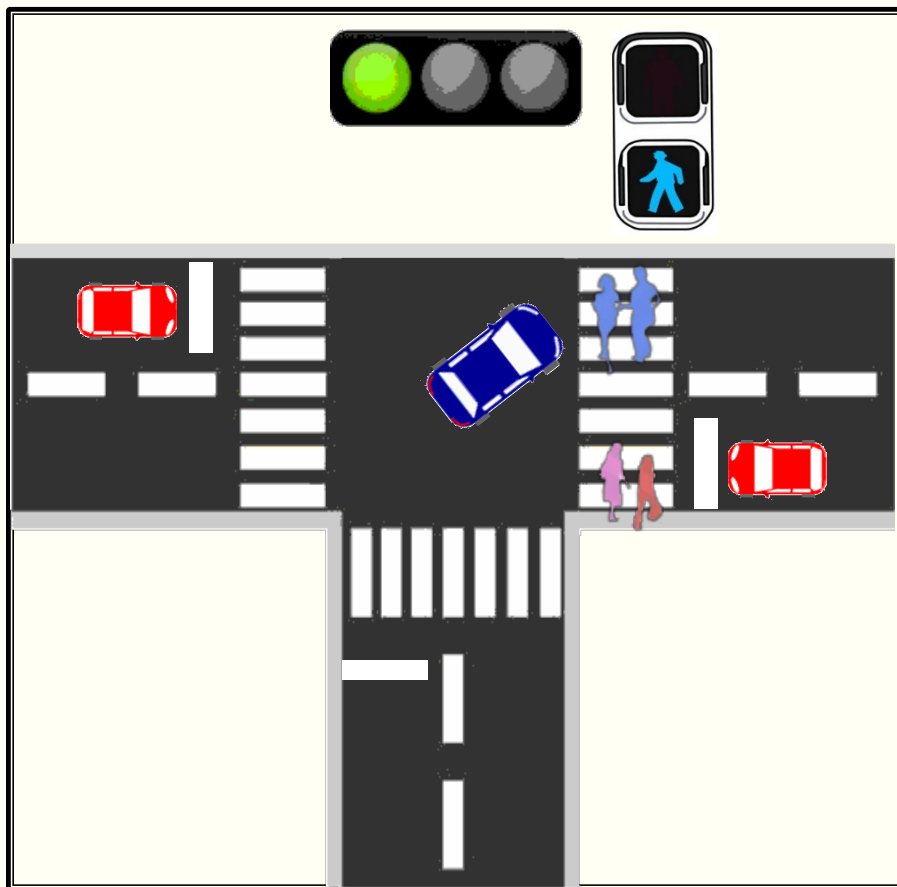
右折出来ます。
だから交差点の中央手前
で待機です。



右折は出来ません。
だから動かずに待機です。

T字型の信号交差点での待機場所

応用

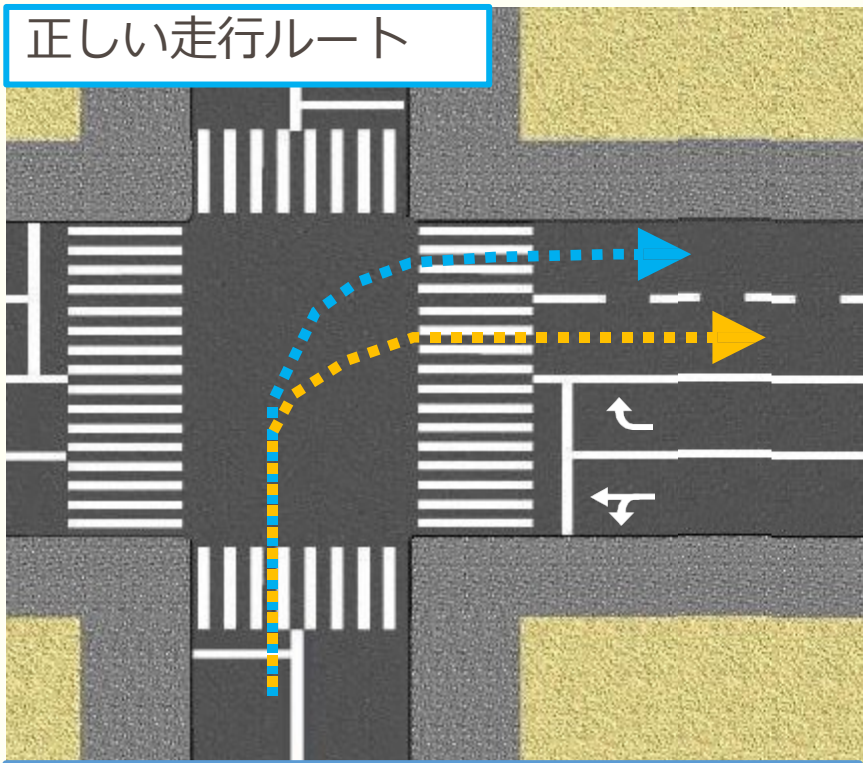


T字型の信号交差点では、
横断歩道の手前で待機しましょう。

信号右折（1車線から2車線）

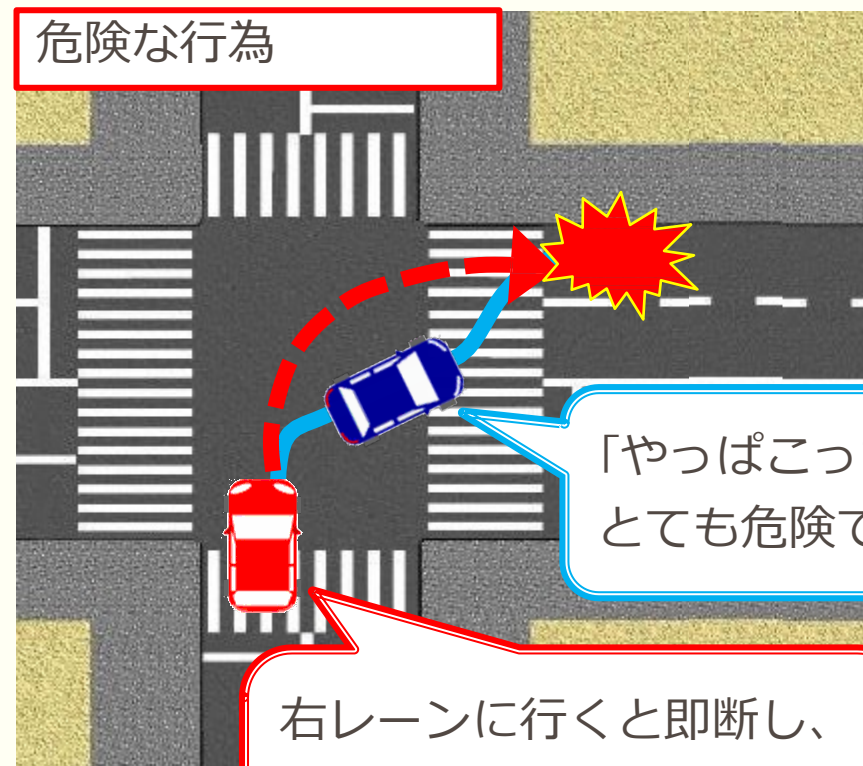
応用

正しい走行ルート



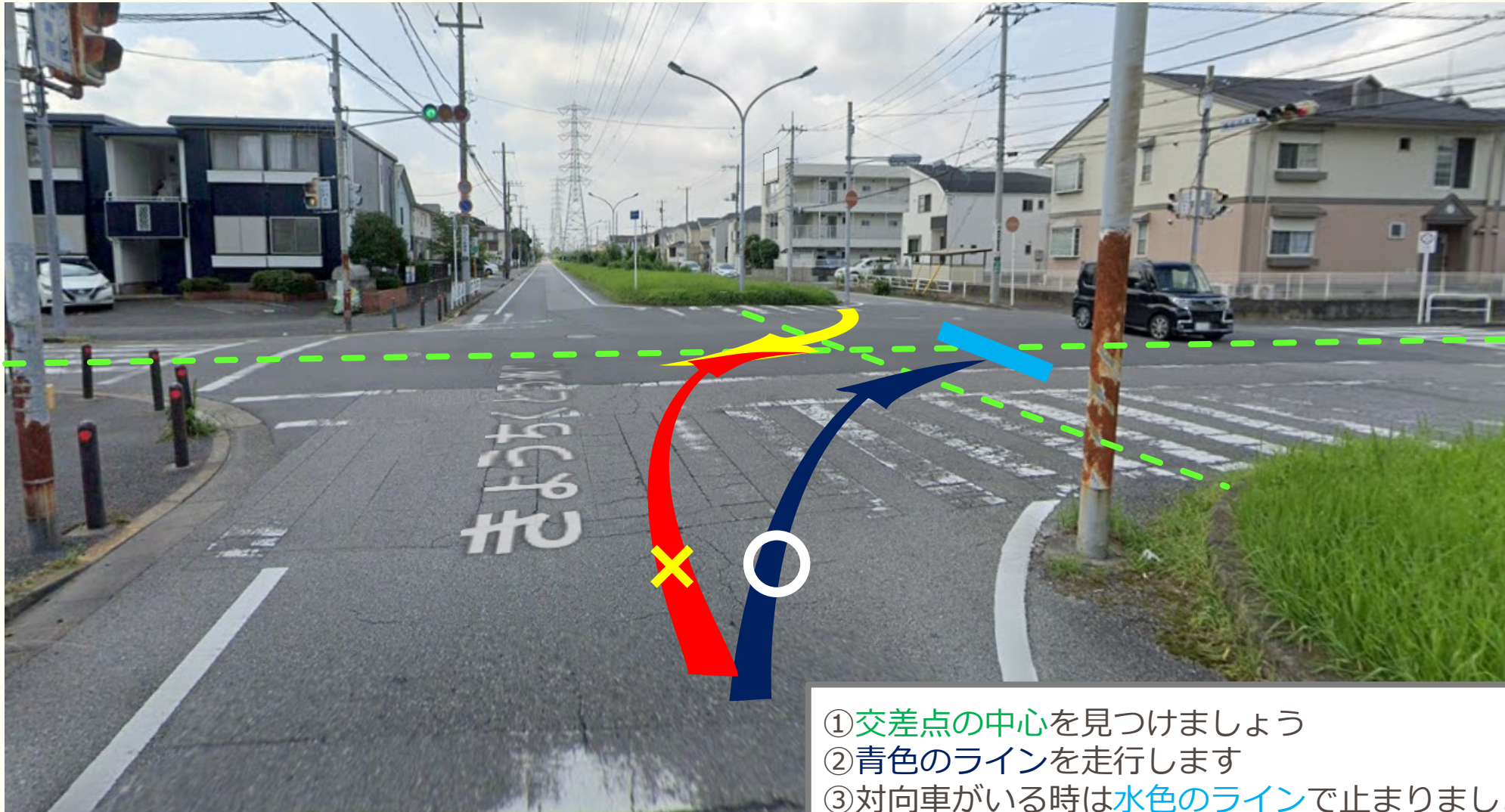
どちらのルートでも問題ありません

危険な行為



分離帯のある交差点の走行ライン

ベーシック
トレーニング

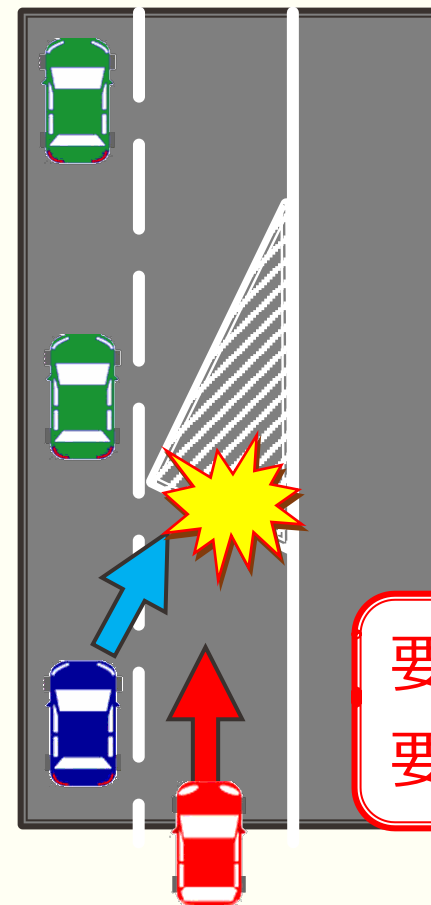
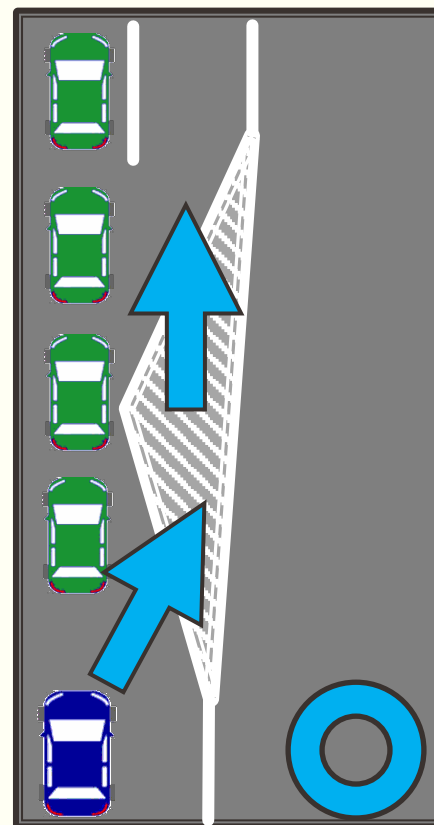
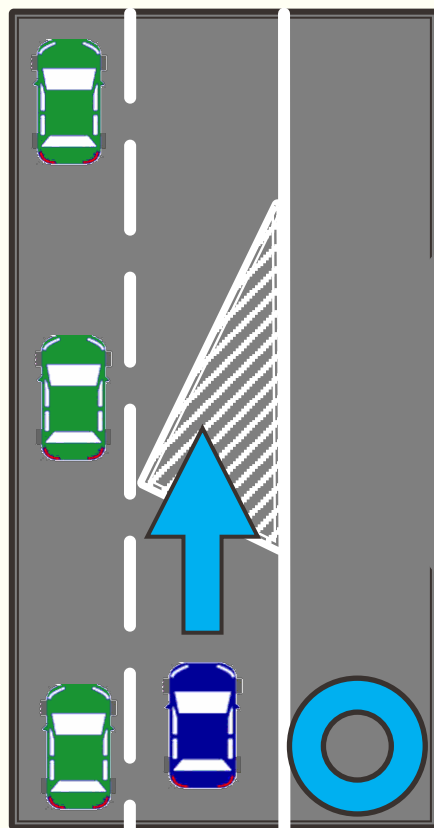


- ①交差点の中心を見つけましょう
- ②青色のラインを走行します
- ③対向車がいる時は水色のラインで止まりましょう

ゼブラゾーンの対応（導流帯）

応用

ゼブラゾーンは、**事故回避の観点から、原則、踏まないようにしましょう。**
踏んでも違反ではないので、図の様な状況の場合は進行しても問題ありません。



要確認！
要注意！

時差式の信号機もあります

応用



相手の信号



自分の信号

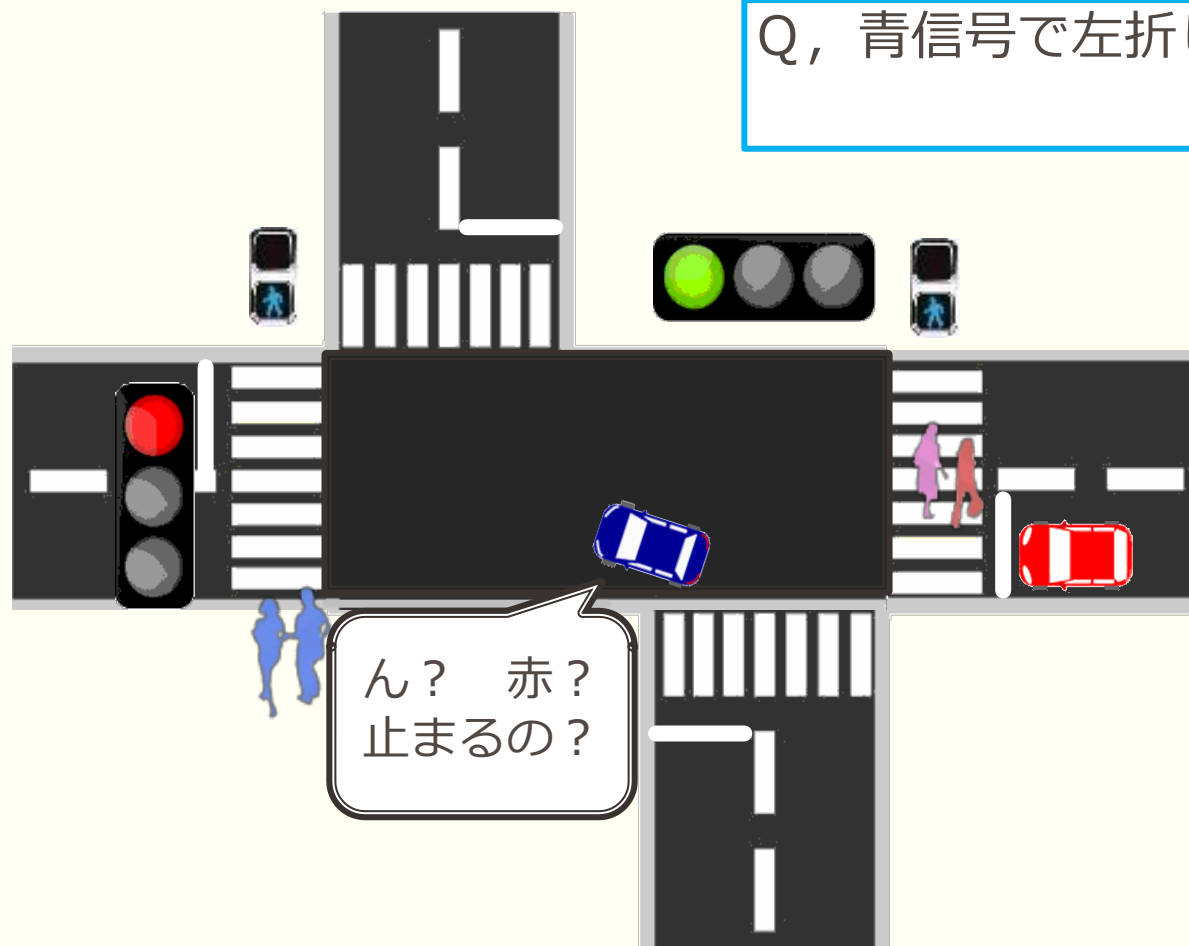


こんな表示
の時もあり
ます



勘違いシチュエーション（ずれた交差点）

応用



Q, 青信号で左折したら、赤信号が正面に見えました。
進みますか？

【答え】

進みます。
赤信号は「赤色車を管理」している信号です。

曲がった先に停止線があったら止まります。



信号右折の「出来た」の基準

出来た（＝評価3）の基準@信号右折

一連の理解・実践が身に付くと安定します

これさえ出来れば安全確保が大幅に上昇！

【出来たの基準】

- ①待機場所の安定
 - ・考え方を理解できている
 - ・右寄りを実践できる
- ②タイミング問題の原理原則を理解している
- ③均等意識
 - ・信号（歩行者用含む）、歩行者、対向車
 - ・黄色になった瞬間を見落とさない
- ④速度調整＆首振り行動の安定
- ⑤自分の判断で実践ができる
- ⑥ラインコントロールが安定している

- ・減速（スピードコントロール）
- ・首振り確認